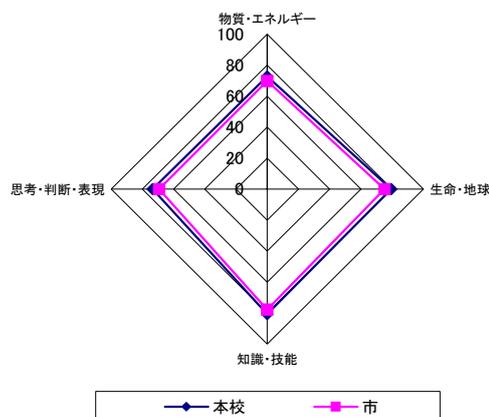


宇都宮市立東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	72.8	69.9	67.8
	生命・地球	79.4	75.1	73.7
観点別	知識・技能	80.6	77.8	78.4
	思考・判断・表現	73.5	69.4	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は72.8%であり、市の平均を2.9ポイント上回っている。</p> <p>○ふりこのきまり、電流のはたらき、物の燃え方、水溶液の性質において、思考・判断・表現のほとんどの設問で市の平均を上回っていることから、科学的な事象からその規則性や性質を多角的に捉え、的確に表現する力が身につけてきていると考えられる。</p> <p>●物の溶け方、水溶液の性質では、知識・技能のいくつかの設問で市の平均を下回っていることから、実験器具の扱い方や測定したデータの読み方など基礎的な内容の理解に課題が見られる。</p>	<p>○基礎基本の確実な定着を図るために、単元ごとの重要事項や言葉の理解を確認しながら学習を進めていく。特に単元の導入時や各種実験の開始時において、学習内容を明確にする。</p> <p>●児童の興味・関心に応じて、発展的な内容も取り入れ、科学の面白さを味わわせる。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は79.4%であり、市の平均を4.3ポイント上回っている。</p> <p>○動物のからだのつくりとはたらき、植物のからだのつくりとはたらきでは、すべての設問で市の平均を上回った。日常生活に関連の深い内容に興味を持って学習に取り組んでいると考えられる。</p> <p>●植物の発芽と成長、生物と環境、月と太陽ではいくつかの設問で市の平均を下回った。月の見え方と太陽と月の位置関係など、日常から離れた事象についての理解に課題が見られる。また記述式の設問ではポイントを押さえた記述が課題となった。</p>	<p>○日頃より自分の身の回りにある不思議・疑問を大切に、常に問題意識をもって生活できるような環境を整えていく。</p> <p>●月と太陽の位置関係など、日常から離れた事象については、より実感を伴って理解できるような教材の工夫やICT機器の有効活用、宿泊を伴う学習の機会を生かすなどの手立てが必要である。</p> <p>●自分の考えやその根拠などについて短く記述するような学習を、教科を問わず日頃より行う。</p>